

公表\_令和7年度\_放デイ ぶれぶれ遊歩

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ぶれぶれ遊歩		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 30日		R8年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 30日		R8年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・法人理念に基づき事業所の目標の明確化。	・事業所の大きな目標として「自己表現ができる居場所」を掲げ今年度も取り組んできた。当法人においても20年を超える歴史から様々な事例や取り組みにおけるノウハウを積み重ね多様性に応じた支援が展開できていると考える。	・11回に及ぶ夏休みの発表会に加え、今年度は長崎ピース文化祭への出演を通し子どもたちのより良い経験へとつながった印象がある。今年度以降も現状に甘んじることなく子どもたちの成長の手助けとなるような経験を模索していきたい。
2	・支援内容の充実	・専門プログラムに加えよりきめ細やかなプログラムの提示が評価を高めたと考えられる。また子どもたちが実際に取り組んでみたい活動を盛り込み、活動に反映させている点も良かった要因と考えられる。	・より専門性の高い支援が求められる現在において、一人一人の支援員の質の向上が必須条件といえる。新たな職員に加え経験年数の高い職員との連携を図り、より高度な支援へとつなげていきたい。
3	・虐待防止への取り組み	・年に1度の法人研修において虐待防止に努め、毎月行われる運営委員会においても各事業所、様々な取り組みが取り上げられている。今年度においては事業所内に防犯カメラを設置し防犯及び虐待発生の抑止に努めている。	・実際に虐待が起こってしまえばどうしようもないので、いかに未然に防ぐのが重要。職員の倫理感も含め小さな事柄から取り上げ、本当にこの支援でいいのか?の疑問を持ち続けていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・相談体制の構築	・保護者、相談支援、他事業所、学校等、事業所や法人の枠を超えた連携がまだ不足がちなのではないかと考えられる。いかに時間を確保し、連携会議の開催を実施していくのが大きな目標である。	・事業所自体の発信は徐々にできつつあるが多職種連携の場面が不足しているため、自立支援協議会や研修への参加を通じて横との連携を図りたい。
2	・子どもの状態に応じて職員が足りていないとの回答があり。	・子どもたちの特性が多様化していること、送迎ルートが多岐に及んでいることが要因と考えられる。よりきめ細やかな支援が求められる以上、人員は多い方がやりやすいと感じるのは当然のことかと考えられる。	・配置基準は満たされているが余裕を持った人員配置は必要と考えられる。また同時に職員一人一人のスキルアップ、障害特性への理解が必要不可欠であると考えられる。
3			

公表\_令和7年度\_放デイ\_ふれふれ遊歩

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービスふれふれ遊歩
------	----------------

公表日

R8年 3月 13日

利用児童数

24人 回収数 19

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1		2		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1			一人ひとりを理解し、個々にあった支援をされている職員がいる。	今後とも専門的支援に力を入れて実施していきたいと考えています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			1	子どもたちが楽しめるような活動を配慮して考えている。	今後とも子どもたちの療育に生かせるような活動を取り入れていきたいと考えています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	2	6		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16			3		

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3		4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	3		1	以前、グループホームについてのお話をしたときに「なんとなく」の感じがしてしまいました。	不明瞭な説明があったことに対し申し訳ないと思います。今後はわかりやすい明確な回答を心がけていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2			活動プログラムや送迎等で連絡ミスがあった。	連絡ミスが無いよう原因を探しミスが無いように心がけていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19				定期的にインスタで情報発信をしている。	HPおよびInstagramなどを用いて情報発信を継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				いつもありがとうございます。	皆様のご希望に添えるよう相談しながら支援を継続していきます。

公表\_令和7年度\_放デイ ぷれぷれ遊歩

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス ぷれぷれ遊歩				公表日	R8年 3月 13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・個別に対応できるスペースに名称を付けてみてはと思います。	・子どもたちにわかりやすいように視覚支援を実施します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・送迎職員が不足していると感じることがある。	・職員や他事業所と協力して不足することが無いように努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	・物品の整理や掲示の工夫が必要などところがある。 ・段差の解消は必要。 ・絵カードなどの教材を充実させていきたい。	・安全な環境を整えてできる限りの改修を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・個室を用意している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・個室を用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・時間がない中取組んでいると思う。子供をピックアップして検証してみようと思う。 ・事業所目標を設定し取り組んでいる。 ・毎月のモニタリング会議の実施。	・今後とも継続して議論する場を設けます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・送迎の際に支援につながる話ができればと思う。	・情報発信を心がけて意見を言いやすい関係を作ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・毎月実施しており日々の業務を見つめなおす機会になっている。 ・サポート面談を実施している。	・今後とも継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・とても充実していると思う。 ・法人、事業所研修、外部研修の実施。	・現状に満足することなく新たな研修を模索します。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・支援プログラムを作成し、公表している。	・支援プログラムの振り返りを行い、さらに良い支援を目指します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・毎月モニタリング会議を実施している。 ・個々にあった支援を行っている。	・今後とも継続し、よりよい支援につなげていきます。

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・意識はしているが改善につなげていくことが難しいと感じている。	・定期定期に振り替える機会を設け計画の共有を図ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	・原因や特性に対して適切な支援ができないことがあり事前予測が難しかった。	・日々の中で発信できる関係性をつくりより良い支援へつなげます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・話し合いで決めている。	・新たな活動やプログラムを作成していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・固定化しないように工夫はされているが改善していく必要は感じている。 ・曜日などの担当を決めている。	・新たな活動やプログラムを作成していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・不十分なことはあるが共有できている。	・様々なツールを用いてチームで取り組める環境を目指します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・必要以上の支援をしないように心がけている。	・良い支援とは何か？を考えながら協力して取り組める環境を作ります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・最新の注意を払っている。 ・送迎時を利用し先生とも情報交換をしている。	・学校との連携を図り、積極的に学校に赴きます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		・情報交換会等を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		・心がけている	・個別シートを活用し子どもたちの不利益が無いように取り組みます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		・話し合いの機会や法人内のバイザーとの交流を行っている。	・法人全体でサポートできる機能を充実していきます。

の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	7	1	・地域の公園などに出かけ交流している。 ・ゆうほまつりの実施。	・今後とも積極的に地域との関りを創っていきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	・積極的には参加できていない。	・極力参加できるよう努めます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・その都度話し合いを行い意見の交換を行っている。	・送迎時や電話相談などを活用して共通理解に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・保護者会を実施して情報交換を行っている。 ・お便りの配布。	・積極的に保護者の方が参加できる活動を取り入れていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に必ず説明をしている。	・より丁寧に説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・個別面談に説明を行っている。	・意見の交換ができる関係性を築き、よりよい支援へつなげていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		・個別面談に説明を行っている。	・今後とも継続してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・相談支援と連携を取っている。	・今後とも積極的に取組んでまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		・保護者会を実施し交流を図っている。	・今後は複数回実施できるように企画していきたいと思っております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		・ニュースの配布やインスタグラムを活用している。	・様々なツールを用いて発信していきたいと考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・スマートフォン等を用いて細やかにしている。	・今後とも様々なツールを用いて意思疎通を図ってまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	・ゆうほまつり、クリーン活動の実施。	・今後とも地域に出かける活動を実施していきたいと思っております。
非 常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・ミーティングの時間の確保が必要	・会議の時間を確保しマニュアルの徹底に努めます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・年2回の避難訓練の実施。	・今後とも継続します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・調理、おやつなど配慮している。	・より丁寧に把握してまいります。

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		・会報の活用が必要。	・安全計画に基づき家族の方と連携を図りながら取り組んでいきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・職員間の共通認識がもっと必要。	・より細やかなリスク回避ができるように声を掛け合う関係性を作ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・法人研修、サポカレの実施。	・研修時のみならず日ごろから虐待について考えることができる機会を設けます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		・説明や記録を取る事が大事。	・身体拘束について理解を深め、拘束しなくてもよい環境を模索します。